

[様式2 (汚染水処理対策委員会に報告し、一般公開となるものです)]

御提案書	
技術分野	①②汚染水貯蔵槽および浄化装置の設置プラント（「技術提案募集の内容」の該当番号を記載願います）
御提案件名	汚染水貯留槽と浄化装置併用プラント案
御提案者	虎ノ門経済研究会 津吉秀一
<p>1. 技術等の概要（特徴、仕様、性能、保有者など）</p> <p><u>汚染水貯留槽として廃船原油輸送タンカーの利用</u></p> <p>以下はかつて大型造船ドックの建設に関係した技術者として考えた提案です。</p> <p>① 現在の汚染水貯留タンク容量は 1000 トンと聞いている。</p> <p>② 原油運搬タンカーは 30 万トン～80 万トンが建造され使用されている。</p> <p>③ 原価償却が済んだタンカーは廃船後、スクラップになると聞いている。</p> <p>④ 世界中から廃船情報を得て購入する。</p> <p>⑤ 廃船を福島原発に面した湾に係留して汚染水貯留タンクとして使用する。</p> <p>⑥ 仮に 60 万トンタンカーの場合、地上タンク 600 基分に相当する。</p> <p>⑦ タンカーの上甲板にアルプスなどの汚染水浄化装置を取り付けて稼働させる。</p> <p>⑧ タンカーの構造は 2 重外装や隔壁が設けられており、タンカーから海への漏水の心配はない。</p> <p>⑨ 津波対策を考慮すれば、地震に対しては安全である。</p> <p>⑩ ③の港湾内の海水の浄化（海水中の放射性物質の除去等）プラントとしても利用できる。</p> <p>以上はタンカーの廃船市場の状況を知らない者の思いつきですが、毎日マスコミ報道されている問題（陸上では課題が多い）について解決策になるのではないかと思ひ提案します。</p>	
<p>2. 備考（以下の点など、可能な範囲で御記入いただけますようお願いいたします）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 開発・実用化の状況（国内外の現場や他産業での実績例、実用化見込み時期を含む） 	

（備考）技術提案募集の内容（6 分野）

- ① 汚染水貯蔵（タンク等）
- ② 汚染水処理（トリチウム処理等）
- ③ 港湾内の海水の浄化（海水中の放射性物質の除去等）
- ④ 建屋内の汚染水管理（建屋内止水、地盤改良等）
- ⑤ 地下水流入抑制の敷地管理（遮水壁、フェーシング等）
- ⑥ 地下水等の挙動把握（地下水に係るデータ収集の手法、水質の分析技術等）